

● 「自信（プロ）意識」を持つ7つの方法

1 「資格を取る」

資格を習得した段階でかなりの自身が持てる  
周囲はプロとみなしてしまう  
（できるだけ広範囲な資格が望ましい）

2 「周りが認める」

公にガイド組織の存在は活動を認知させる（アピールする）  
（広報や新聞等で活動を紹介した記事を掲載する）

3 「感謝される」

ガイドツアー参加者にアンケートの記入をお願いする  
その感謝された内容分だけを集める  
（それを、会員が目につきやすい場所に掲示する）

4 自信を持つ（経験・知識・技術）

とにかく経験を積む  
とにかく知識や技術を修得する  
（その機会をたくさん作る・圧倒的に学ばせる）

5 「宣言する」

目立つユニフォーム（ネームカード）を作る  
ガイド証を義務付けさせる  
私は「ガイドです」と宣言させる  
（プロのガイドであることを表示する）

6 その仲間に所属する

ガイド組織に所属する  
できるだけ会合に参加させる  
（組織の活動を多くする）

7 稼ぐ

とにかく仕事をこなし、稼いで見る  
（オーダーや仕事量を多くする）

以上

## <根源的な課題と解決法>

地方在住の方は「そのエリア」から出た経験が少ない

又「そのエリアから出ようとも思っていない」

その狭い範囲で「生きることを望んでいる」

それは根源的な欲求（恐怖）なので、それを解決することは不可能である

ただし、その壁を少しだけ打ち破らないとさらに深みにハマる（変化しない）

そこで、視察旅行や研修会などの短期イベント（あくまでも元へ帰る前提旅行）を企画する事が効果的である。

### ●方法

- 1 研修会を企画する（講師を呼ぶ）
- 2 視察会を企画する（他エリアに出かける）
- 3 宿泊型で実施する
- 4 遠い場所に出かける
- 5 個人でも行けるような段取りをする
- 6 プライベートな山行きと連動させる
- 7 成功体験者をひとり育成する

### ●自信についての基礎知識

自信 → 小さな自信（そのエリアだけの自信）OR（大きなエリアでの自信）  
比較しないと「不安」のまま 自己自信のままである  
小さな自信や自己自信は「不安」がつきまとう  
本質的な自信とは「それを打ち破る自信が必要である」  
（例）メジャーリーガー と朝野球

### ●ポイント

「あなたがチャレンジすることで、後世が救われる」

「あなたはそのままでもいいのですか？」

「どちらを選択するかは自由です」